

# 認知症の人と向き合うということ

～本人と支援者の「誤差」を意識する～

【講義・演習】

▽日時／2026年4月17日(金) 10:00～16:00

(受付9:30～)

▽会場／千葉市社会福祉研修センター研修室

(千葉市ハーモニープラザ B 棟2階)

▽募集定員／ 24 名【先着順 定員に達し次第締切】

▽受講資格／市内福祉施設・事業所にお勤めの方で、認知症ケアに従事されている方

※基礎的内容ですので比較的経験の浅い方、基本をもう一度確認されたい方におすすめです。

▽受講料／無料

▽持参するもの／筆記用具

▽申し込み方法／別紙『研修受講申込書』に必要事項を記入し、FAX またはメールをお送りください。

HP からのお申込みも可能です。

## 研修の方向性

認知症の方にケアを提供する専門職の方が**基礎基本を再確認する研修**となります。

本研修では様々な事例を通して、認知症の状態にある方への対応の可能性を知っていただく研修となります。なかなか自覚しにくい(支援専門職が陥りやすい)「介護者中心のケア」を再確認しながら、皆さんが提供している「支援の方法」について、その必然性を一緒に探っていただきます。

## 取扱事例(予定)

- 1 「家に帰りたいんですが・・・」
- 2 「私の通帳がない！！」
- 3 「お風呂？入りたくないわ」

## 研修内容(予定)

- 1 歴史と法律から確認したい「専門職としての立ち位置」
- 2 事例から考える BPSD に対する対応力
- 3 チームケアの必然性
- 4 質疑応答

主催 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会

千葉市社会福祉研修センターHP <https://chiba-shakyo.jp/learning/seminar/>

TEL 043(209)8841 FAX 043(312)2943 担当 山村

メール yamamura-t@chiba-shakyo.jp